



## 2023年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年5月12日

上場会社名 株式会社ニチリン 上場取引所 東  
 コード番号 5184 URL <https://www.nichirin.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 曾我 浩之  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 香山 喬尚 TEL 079-252-4151  
 四半期報告書提出予定日 2023年5月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年12月期第1四半期の連結業績（2023年1月1日～2023年3月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第1四半期	17,083	12.3	2,330	27.7	2,473	8.9	1,114	△11.9
2022年12月期第1四半期	15,216	△1.9	1,824	△14.0	2,271	△12.5	1,265	△9.5

(注) 包括利益 2023年12月期第1四半期 2,266百万円 (△33.4%) 2022年12月期第1四半期 3,404百万円 (1.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第1四半期	80.74	—
2022年12月期第1四半期	89.62	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年12月期第1四半期	72,302	53,499	64.3	3,415.11
2022年12月期	72,540	52,938	63.7	3,303.52

(参考) 自己資本 2023年12月期第1四半期 46,475百万円 2022年12月期 46,224百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	38.00	—	52.00	90.00
2023年12月期	—	—	—	—	—
2023年12月期（予想）	—	52.00	—	52.00	104.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	68,000	6.0	8,200	6.8	8,400	△0.6	4,600	0.5	328.75

(注1) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期1Q	14,371,500株	2022年12月期	14,371,500株
② 期末自己株式数	2023年12月期1Q	762,855株	2022年12月期	379,075株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期1Q	13,809,079株	2022年12月期1Q	14,119,388株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(2)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2023年1月1日～2023年3月31日）における世界経済は、新型コロナウイルス感染症（以下、新型コロナ）については、多くの国での入国規制が解除されるなど経済活動の正常化が進みました。一方、ウクライナ情勢による資源、エネルギー価格の高騰や、半導体等部品の供給不足によるインフレが続く中、主要中央銀行における利上げが続いており、景気後退への影響が懸念されることとなりました。

米国においては、個人消費の回復を背景に景気は堅調に推移しましたが、一方で資源、エネルギー価格の高騰に加え、人手不足による賃金上昇が深刻化しています。また、インフレ抑制のための急激な金融引き締めは、一部の銀行の経営破綻や金融不安を招きました。引き続き米国の金利政策と世界経済への影響が注視されています。

欧州においては、ウクライナ情勢の影響により経済活動は低調に推移しました。暖冬や政府の支援策等によりエネルギー価格の上昇は抑制されましたが、資源価格の高騰と賃金上昇などインフレが続いています。また、欧州においても一部の銀行で経営不安が高まったことから金融安定化とインフレ対応の両立が求められています。

中国においては、ゼロコロナ政策解除後の人流回復に伴い経済活動の正常化が進み、不動産業や輸出の低迷はあるものの、個人消費など内需を中心に緩やかな経済回復が見込まれています。一方、米国による中国への過度な経済的依存を見直す動き（選択的デカップリング）に伴う経済への影響が懸念されています。

アジアにおいては、世界経済の後退による輸出の低迷や金融引き締めの影響により経済成長ペースは鈍化しましたが、今後は新型コロナからの回復による観光産業のインバウンド需要や中国向け輸出などによる景気回復が期待されています。

日本経済は、前年からの円安が総じて企業業績を後押しした一方、資源、エネルギー価格の高騰や、半導体等部品の供給不足によるインフレが顕在化しています。さらに、長年抑制されてきた賃金の見直しも進められており、企業によるコスト上昇分の販売価格へ転嫁する動きが広がっています。

当社グループの主要事業分野である日本自動車業界に関する状況は、次のとおりであります。

自動車の生産販売は、北米向けや国内向けでは昨年と比較し回復傾向にありますが、断続的な半導体等部品の供給不足や中国、欧州市場での急速なEV化によるガソリン車販売の低迷は日系自動車業界にとって懸念事項となっております。世界的に各国規制によるEV化の流れは趨勢となっており、市場シェア維持のためEV化への早期対応が課題となっております。

この結果、当第1四半期連結累計期間における国内乗用車メーカー8社の国内四輪車販売台数は、前年同四半期比15.8%増の127万台、四輪車輸出台数は、前年同四半期比6.8%増の89万台となり、国内四輪車生産台数は、前年同四半期比14.2%増の211万台となりました。また、海外生産台数は、前年同四半期比1.0%減の425万台となりました。

このような環境のなか、当第1四半期連結累計期間の売上高は17,083百万円（前年同四半期15,216百万円）、営業利益は2,330百万円（前年同四半期1,824百万円）、経常利益は2,473百万円（前年同四半期2,271百万円）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は1,114百万円（前年同四半期1,265百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ①日本

国内およびアジア向けを中心とした販売回復や円安に伴う外貨建て売上高の増加により、売上高は8,383百万円（前年同四半期7,717百万円）、営業利益は729百万円（前年同四半期681百万円）となりました。

②北米

北米市場は、半導体等部品の供給不足は改善傾向にあり、売上高は3,140百万円（前年同四半期2,524百万円）となりました。また、人手不足と人件費の上昇に対して一部生産を日本、アジアへ移管したことや物流の見直しなどにより、営業利益は257百万円（前年同四半期143百万円）となりました。

③中国

EV化が加速する中、日系自動車メーカーのガソリン車販売の低迷に加えて、半導体等部品の供給不足や新型コロナ下で積上げた在庫の調整の影響を受け、売上高は2,914百万円（前年同四半期3,182百万円）、営業利益は388百万円（前年同四半期368百万円）となりました。

④アジア

半導体等部品の供給不足による顧客での生産調整が改善傾向であることから、売上高は5,329百万円（前年同四半期4,540百万円）、営業利益は794百万円（前年同四半期710百万円）となりました。

⑤欧州

ウクライナ情勢や半導体等部品の供給不足による顧客での生産調整が改善傾向であることから、売上高は1,590百万円（前年同四半期1,244百万円）、営業利益は22百万円（前年同四半期は営業損失0百万円）となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

世界経済は、各国の金融政策やインフラ投資、企業の設備投資の増加などによる経済回復が期待されている一方、原材料価格の高騰や需給バランスの崩れによる物価上昇、国際貿易の不均衡、一部の国々の政治的緊張などにより、グローバルな景気後退のリスクが表面化しつつあります。

自動車業界では、地域毎の需要変化や各自動車メーカーの販売動向の影響はあるものの、半導体不足は徐々に解消され、サプライチェーンの正常化とともに生産・販売が回復していくものと予想されます。

このような環境の中、当社グループの業績については、第2四半期以降も概ね計画どおりの推移を見込んでおり、2023年2月14日に公表した通期連結業績予想は修正しておりません。

なお、為替レートについては、1US\$=125円を前提としております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	18,354	18,163
受取手形及び売掛金	11,246	11,882
電子記録債権	1,934	1,779
棚卸資産	12,236	11,610
その他	1,858	1,591
貸倒引当金	△38	△27
流動資産合計	45,592	44,999
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	15,484	15,677
減価償却累計額及び減損損失累計額	△7,807	△8,001
建物及び構築物（純額）	7,676	7,675
機械装置及び運搬具	24,590	25,131
減価償却累計額及び減損損失累計額	△16,838	△17,317
機械装置及び運搬具（純額）	7,752	7,813
土地	3,023	3,044
建設仮勘定	944	1,043
その他	6,064	6,267
減価償却累計額	△3,807	△3,963
その他（純額）	2,256	2,304
有形固定資産合計	21,653	21,881
無形固定資産		
その他	344	349
無形固定資産合計	344	349
投資その他の資産		
投資有価証券	3,644	3,787
繰延税金資産	667	573
その他	638	710
投資その他の資産合計	4,949	5,071
固定資産合計	26,947	27,303
資産合計	72,540	72,302

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	5,889	5,511
電子記録債務	2,962	2,712
短期借入金	132	—
1年内返済予定の長期借入金	626	615
1年内返済予定のリース債務	287	311
未払法人税等	975	1,069
賞与引当金	271	531
その他	2,446	2,266
流動負債合計	13,592	13,018
固定負債		
長期借入金	754	613
リース債務	711	675
再評価に係る繰延税金負債	610	610
繰延税金負債	592	548
役員退職慰労引当金	4	—
退職給付に係る負債	3,131	3,140
その他	203	195
固定負債合計	6,009	5,784
負債合計	19,601	18,803
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,158	2,158
資本剰余金	1,998	1,998
利益剰余金	36,814	37,201
自己株式	△661	△1,404
株主資本合計	40,309	39,952
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	809	928
土地再評価差額金	1,385	1,385
為替換算調整勘定	3,623	4,108
退職給付に係る調整累計額	96	99
その他の包括利益累計額合計	5,915	6,522
非支配株主持分	6,714	7,024
純資産合計	52,938	53,499
負債純資産合計	72,540	72,302

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月 1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月 1日 至 2023年3月31日)
売上高	15,216	17,083
売上原価	11,560	12,981
売上総利益	3,655	4,101
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	493	391
貸倒引当金繰入額	21	△12
役員報酬	78	80
役員退職慰労引当金繰入額	0	—
給料及び手当	408	454
賞与引当金繰入額	74	93
退職給付費用	18	17
法定福利費	71	79
旅費及び交通費	21	34
租税公課	50	68
賃借料	23	33
減価償却費	83	73
その他	484	455
販売費及び一般管理費合計	1,831	1,771
営業利益	1,824	2,330
営業外収益		
受取利息	15	49
受取配当金	1	1
受取賃貸料	2	2
為替差益	400	91
助成金収入	6	—
その他	41	30
営業外収益合計	468	175
営業外費用		
支払利息	10	9
その他	11	23
営業外費用合計	21	32
経常利益	2,271	2,473
特別利益		
固定資産売却益	0	3
投資有価証券売却益	51	61
特別利益合計	52	65
特別損失		
固定資産売却損	7	0
固定資産除却損	25	7
特別損失合計	33	7
税金等調整前四半期純利益	2,289	2,531
法人税、住民税及び事業税	685	664
過年度法人税等	—	402
法人税等調整額	80	5
法人税等合計	766	1,071
四半期純利益	1,523	1,460
非支配株主に帰属する四半期純利益	258	345
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,265	1,114



（四半期連結包括利益計算書）  
（第1四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2022年1月 1日 至 2022年3月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2023年1月 1日 至 2023年3月31日）
四半期純利益	1,523	1,460
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△108	118
為替換算調整勘定	1,990	684
退職給付に係る調整額	△0	3
その他の包括利益合計	1,881	806
四半期包括利益	3,404	2,266
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,715	1,721
非支配株主に係る四半期包括利益	690	544

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

（セグメント情報）

I 前第1四半期連結累計期間（自2022年1月1日 至2022年3月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	日本	北米	中国	アジア	欧州			
売上高								
顧客との契約から生 じる収益	4,682	2,513	2,937	3,881	1,201	15,216	—	15,216
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	4,682	2,513	2,937	3,881	1,201	15,216	—	15,216
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,034	11	244	659	42	3,992	△3,992	—
計	7,717	2,524	3,182	4,540	1,244	19,209	△3,992	15,216
セグメント利益又は損 失 (△)	681	143	368	710	△0	1,902	△78	1,824

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△78百万円には、セグメント間の未実現損益△81百万円、セグメント間取引消去3百万円等が含まれております。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自2023年1月1日 至2023年3月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	日本	北米	中国	アジア	欧州			
売上高								
顧客との契約から生 じる収益	4,882	3,132	2,686	4,837	1,542	17,083	—	17,083
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	4,882	3,132	2,686	4,837	1,542	17,083	—	17,083
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,500	7	228	491	47	4,275	△4,275	—
計	8,383	3,140	2,914	5,329	1,590	21,358	△4,275	17,083
セグメント利益	729	257	388	794	22	2,193	136	2,330

(注) 1. セグメント利益の調整額136百万円には、セグメント間の未実現損益127百万円、セグメント間取引消去9百万円等が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。